

2025年度日本学生支援機構大学院貸与奨学金

研究科独自書類および「業績優秀者返還免除申請書(様式1)」作成の注意事項について

1. 生命科学研究科独自書類「研究業績報告書」の提出について

生命科学研究科院生の方は、選考上、追加で独自書類「研究業績報告書」の提出が必要です。「研究業績報告書」は、研究科における選考時に、「業績優秀者返還免除申請書(様式1)」の内容を確認するための参考資料として取り扱います。日本学生支援機構には提出しません。

なお、業績をまとめるにあたっては、記載漏れがないよう指導教員に確認・相談のうえ作成してください。

1) 「研究業績報告書」の作成方法

「立命館大学若手研究者学術・キャリア情報検索システム(Ri-SEARCH)」により記入し、出力してください。

STEP1:以下URLより「Ri-SEARCH」にRAINBOW IDでログインする。

<https://gyoseki-web.ritsumei.ac.jp/ritgsap/P300>

STEP2:以下の操作マニュアルを参照しながら、必要事項を入力し、「研究業績報告書」を印刷する。

操作マニュアル <https://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=574867>

2) 注意事項**① 業績の対象となる期間**

奨学金の出願締切日までに実施された発表を対象とします。ただし、投稿した論文が受理された場合(論文掲載決定済み)や学会発表が確定している場合は、出願締切日以降の日程であっても業績に含めて下さい。

② 記載方法

- 各業績について、根拠資料の番号(「業績優秀者返還免除申請書(様式1)」に記載した資料番号)を明記して下さい。
- 自身の氏名に二重下線、自身を除く生命科学研究科所属学生(本申請時点での修了済の場合も含める)の著者に下線を引いて下さい。
- 国際会議、国内学会・シンポジウム等の業績について、発表者の氏名の前に「○」印を記入して下さい。
- 「研究会」は、一般に小規模の研究発表会をいいます(例. ○○研究会、ライスボールセミナー、ASTER発表会、関西四大学ポスター発表会等)。【研究会／シンポジウム等】の項目は、演題の後にカッコ書きで「(研究会)あるいは(シンポジウム)」と分類を記載して下さい。

※ 上記については、PDF出力後に手書きで追記のうえ、スキャンしたものを提出する方法も可とします。

③ その他

- 大学(学部)での業績は、評価対象となりませんので、含めないで(出力しないで)下さい。
- 研究論文、国際会議、国内学会・シンポジウム等での発表以外の受賞歴(例. 大学院リサーチプロポーザルコンテスト大賞等)は、評価対象となりませんので、含めないで(出力しないで)下さい。
- 事前に教員が確認することがあるため、「研究業績報告書」(PDF版)に反映させる予定の業績は、全て「公開可」にして下さい。
- 根拠資料は、募集要項に記載の分のみの提出で結構です。研究科独自書類用に別途用意する必要はありません。

2. 「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」作成時の注意事項

「業績優秀者返還免除申請書(様式 1)」の作成については、研究科独自書類である「研究業績報告書」の記載の業績が一致して、過不足がないようにして下さい。

1) 業績の記載箇所

① 学術雑誌等又は商業誌における解説・総説：

「4. (専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1 及び 2 に掲げるものを除く)」に記入して下さい。

② 国際会議、国内学会・シンポジウム等における発表：

「1. 学位論文その他研究論文」の【学会での発表】に記入して下さい。

③ 研究論文、国際会議、国内学会・シンポジウム等での受賞歴：

受賞・表彰されている業績については、「1. 学位論文その他研究論文」の【研究論文】や【学会での発表】の左欄「受賞・表彰」に○を記入してから記載して下さい。

以上

<生命科学研究科独自書類に関するお問い合わせ先>

生命科学部事務室 大学院担当

Tel: 077-561-5021

Email: in-gs1s@st.ritsumei.ac.jp